

航空宇宙分野の売り上げ増へ

国際宇宙展で製品PR

イノウエ、欧州企業と連携

ステンレス・高合金流通のイノウエ（本社）東京都千代田区、井上浩樹社長）は、3〜4年後をめどに、航空宇宙分野の売り上げを2倍に引き上げる計画だ。欧州の航空宇宙企業、Beyond Gravity（ビヨンド・グラビティ）

ビヨンド・グラビティとイノウエ両社スタッフが対応（右はイノウエ・井上社長）



ド・グラビティ）の製品を、国内企業へさらに提供する。都内で開催中の「SPACEA国際宇宙ビジネス展」のビヨンド・グラビティのブースにイノウエの社員も立ち、国内企業に対し製品をアピールしている。

9年からビヨンド・グラビティの積層断熱材「スーパーインシュレーション」を国内で販売しており、幅広い用途で採用されている。スーパーインシュレーションは人工衛星の外装など宇宙空間の過酷な環境に対応する。ビヨンド・グラビティはスイスに本拠地を置く、ロケットや人工衛星向けの製品やサービスを提供する企業。スイス政府系の企業を源流に60年以上の歴史を持ち、ESA（欧州宇宙機関）やNASA（米国航空宇宙局）、民間宇宙大手のスペースX、国内大手などで採用されている。断熱材だけでなく人工衛星のさまざまな部材や製品を製造する。

イノベーションの国内販売実績に加え、航空宇宙品質マネジメントシステム規格「AS9120B」の認証が評価されたこともあり、ビヨンド・グラビティと日本企業との橋渡し役を務めることとなった。航空宇宙分野の扱い製品拡大を目指す。

ブースではビヨンド・グラビティ社員とイノウエの航空宇宙担当社員などが製品を紹介したほか、スーパーインシュレーションの実物や人工衛星関連部材の模型などを展示。井上社長は「宇宙産業は需要増が期待される領域。スーパーインシュレーションなど金属材料以外にも扱う当社ならではの手法で売り上げを拡大したい」と話す。